

# 事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	施設長補佐	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当

フリガナ	●●●●	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	要介護 2	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input checked="" type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
本人氏名	●●●● 様	87 歳									
報告者	●●●●			発生(発見)日時	平成25年09月11日(水) 17:15 分頃						
場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> 拠点707 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 (居室付近、食卓テーブル)										
状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 食卓テーブルの椅子に座り他入居者の方とお話されていた。「痛い」との入居者の声に職員目を向けると、転倒している●●氏を発見する。本人に状況伺うと「部屋に行くかなと思って向きをかえたらバランスを崩したの」と話され、左隣に座っていた▲▲氏の左手が肘置きに置かれており、転倒した際に、左側頭部が▲▲氏の左手の甲に当たり▲▲氏が「痛い」と声をあげたとの事。●●氏を職員2人で起こして椅子に座って頂くその際痛みは本人無いとの事、腫れ・変色等の外傷も見られていなかった。杖は使用されていた。										
症状	<input checked="" type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input type="checkbox"/> その他 ( )					部位					
	本人に確認するが歩行の際など痛みを感じず、普段どうり生活に支障は無い様子。										
対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 (椅子に座って頂いて様子見る。) 医務連絡しバイタル測定、状態観察する。痛み、腫れ・変色等見られず様子観察。										
バイタルサイン	体温	36.1 °C	血圧	132 / 62 mmHg	脈拍	70 回/分	SP02	%	計測時間	17:20	
要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( ) 椅子から立ち上がって居室に戻られる際に方向転換する際バランスを崩され転倒した。職員間では方向転換時に重心が後ろになり、ふらつきやすい事があり常時杖使用を促していた。杖を上手く使えていない様子があるということについても後から分かり、情報共有はしていたが見守りなどの具体的な対応は行っていなかった。										
事故防止対策	居室の外を歩く時には、付き添いの対応をする。特に方向転換時はバランスを崩しやすいので、職員がすぐ支えられるような体勢をとる。 現在4点杖を使用しているが、●●さんに適したものかを検討する。 居室内については、自立されていることもあり付き添うことは困難な為、杖の使用を継続して促していく。										
	加ファリスの必要性について	<input checked="" type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 必要									
家族への説明	平成25年09月13日(金)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話		説明職員	●●援助係長					
	家族氏名	●●●●氏				続柄	姪				
	一昨日の転倒の件を電話にて連絡し謝罪する。「少し前に転んでいるので歩く時は付き添って欲しい」と要望受ける。全ての状況で付き添う事は難しいがフロアを歩かれる際は付き添うこととお話する。「わかりました。お願いします」と返答いただく。										